

令和7年度高知県アニメプロジェクト推進会議 議事要旨

- 1 日 時 令和7年12月23日(火) 15:30~17:00
- 2 場 所 高知県庁 正庁ホール (高知市丸ノ内1-2-20)
- 3 出席者 高知県アニメプロジェクト推進会議委員等：16名
高知アニメクリエイター聖地プロジェクト関係者：6名
高知県アニメプロジェクトアドバイザー：1名
事務局(高知県産業振興推進部)：5名ほか
- 4 議 事 高知県の取組(高知県アニメプロジェクト等)について
高知アニメクリエイター聖地プロジェクトの取組について
意見交換

「高知県アニメプロジェクト」及び「高知アニメクリエイター聖地プロジェクト」の各取組について説明後、意見交換を実施。

以下、主な意見等

①県立高等学校へのまんが・アニメに関するコースの設置について

- ・令和10年度における県立高等学校へのまんが・アニメに関するコースの設置について、すごく楽しみにしている。
- ・子どもたちの学びのあり方や形が劇的に変わって来ている。コースの開設準備に2年とあるが、1年で開設できないのかと思う。
- ・オンラインでの学びが当たり前になっている中で、高知市内の高校で1つ学科を開設するのと併せて、中山間地域に居住する高校生のうち、全ての希望者が学べる環境を作ることも必要ではないか。
- ・生成AIを使いこなす生徒が育ってくる中で、高等学校に新しいコースを開設する時に、これまで同様にタブレットを並べておくだけでは不十分である。
- ・アニメであれば、いかに感動を伝えられるか、あるいは無から有を生み出すような教育も併せて取り組んでいただけたらありがたい。
- ・アニメ制作に当たっては、幅広く様々なことを知識とする必要があって、その中に体験も含まれていると思う。室内で行う勉強だけではなく、自然や人に触れあっていく学びも提供していただけたらと思う。
- ・アニメクリエイターは描くことだけでなく、それ以外の様々な要素がないと、新しい発想ができていけないと思う。美術以外の、歴史やスポーツ等の一般教養とアニメの分野とくっつけて教育していただければと思っている。

②日本のマンガ・アニメに対する海外での人気について

- ・海外で県のアニメの取組を説明すると、興味を持つ方が多い。日本国内のターゲットだけではなく、アジア方面、海外をターゲットとして検討する余地もあるのではないかと思います。
- ・世界中の日本語や日本の文化を学びたい若い人たちの入口がアニメなんだろうと感じている。
- ・志を持ったアニメクリエイターの卵となる方を海外から招くことや、高知から海外へ羽ばたくといったことにより、若い才能を育てる視点を拡大していただければと思っている。

③高知アニクリ祭について

- ・人口減少の時代の中で、今まで高知に関わっていない方々が入り込むきっかけになって、若者や県外から来た方々が地域活性化を手助けするきっかけとなったのが高知アニクリ祭だと感じている。来年もとても期待している。
- ・最近の傾向では、高知アニクリ祭はほかのイベントと異なり、若者が集まって来ていると感じている。若者が動くということは、その保護者や祖父母など家族一体で付いてくる傾向がある。運輸・交通・宿泊業等にも非常に経済効果は大きいものと思われる。
- ・高知アニクリ祭 2025 の会場となった県民体育館、おまち多目的広場、帯屋町アーケード等では、中心部でコンパクトに人の流れが生まれた。これは活気を生む大きな流れとなって、若い方々にも喜んでもらえると思う。
- ・今年の高知アニクリ祭 2025 も県民体育館、帯屋町等で展開され、アニメのまち高知になっていた。アニメを好きな人たち、その家族、友人が笑顔いっぱいのお祭りで、ますますこれが高知から発信されていくのかなどの印象。
- ・高知市中心の流れを広げていくこともお願いできたらと思う。
- ・コンテンツとしてのアニメの裾野は、教育や国際交流など非常に幅広い。須崎市としても我々の地に行き着くように、やっていきたい。

④アニメクリエイターラボ複合施設「GEAR」について

- ・GEARの建設が進んでいるのを見かけるだけで将来を期待できる。
- ・民間の高知信用金庫がGEARを建設してくれることが、活力を生み出してくれている。
- ・若者が動くと街が活気づく。GEARが成功し、若者を引きつけることで、交流人口や移住者の増加につながっていくのではないかと期待している。
- ・GEARの竣工がきっかけとなり、イベントで海外の方が来た時に、高知はアニメの聖地だと感じてもらえるようなまちづくりと一緒にやっていけたらと思う。
- ・GEARで事業や雇用が創出される場合は、県の一番の課題の解決にも結びつく。

⑤プロジェクトの情報発信等について

- ・クルーズ船や高知-台湾の定期チャーター便により海外から多くの方々が訪れている。これから高知空港国際ターミナルができることで、高知へ来た海外の方たちが「アニメがあるぞ」と知っていただいて、そこからアニメを通じて高知の魅力を再発信できるのではないかと期待している。
- ・エンタメやアニメとコラボさせることで、高知をさらに魅力的なものとして発信できるのではないかと、関係人口を増やしていけるのではないかとと思う。
- ・高知でアニメを盛り上げているということがアイコンのような形で、駅や空港に、来る人が見て分かる形であるとよいなと思う。

⑥その他のことについて

- ・デジタル化やネットワーク化が進み、都市部から遠くても、場所や距離を問わずアニメ作りや教育等に取り組める状況となっているため、アニメは高知にとって期待できる産業だと思っている。
- ・今後、高知と同様の取り組みをしているほかの自治体や、さらには海外がライバルになってくるだろう。高知でしか作れないアニメとは何か、高知でしか学べないアニメとは何かとの観点で突き詰めていただければと思う。
- ・国の方では、これから「コンテンツ地方創生拠点」を約200か所作するというので、アニメに着目される自治体はいくつか出てくると思われる。
- ・高知県の取組の強みとしては、先駆者としてしっかりとプロジェクトが先んじて進んでいること及び高知アニクリ祭など様々な取組でリアルがあることだと思う。

以上